

投資事業評価調書（継続）

部課室名	県土整備部 土木局河川課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川課長 石川 浩 (課長補佐兼都市河川 係長 永井隆夫)	内線	4408 (4417)
------	-----------------	---------------------	-------------------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2.1 億円
		広域基幹河川改修事業(一)別府水田川工区	加古郡播磨町宮西 ~ 播磨町北本庄	内用地補償費	約 1.5 億円
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度
加古郡播磨町宮西			H 4	H 4	H 1 4
事業の目的			事業内容		
現川拡幅により、平成 2 年 9 月台風 1 9 号により大規模な被害が発生した当該地域の浸水被害を防止し、地域住民が安全・安心に生活できる環境を確保する。			計画流量 5.8) / s 実施内容 L = 468 m、W = 16.5 m 掘削、護岸、道路橋 3 橋		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 4 年に公共事業として改修に着手。 当該事業区間の用地買収は完了。工事は下流部から順次施工し約 250 m の区間の護岸及び橋梁 2 橋が完成。 残工事の橋梁(町道西耕地 4 号線振向橋)と護岸(L = 110m)、河床掘削(L = 180m)は平成 1 4 年度完了予定。(下流の高潮区間は平成 1 3 年度に完了する予定) 				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 当該地域では、平成 2 年 9 月 1 8 日の台風 1 9 号により浸水面積 17ha、床上浸水 1 0 戸、床下浸水 2 8 8 戸等の大きな被害が発生した。現況流下能力は、8.3) / s と計画流量の 14%程度と極めて低く、出水による家屋や事業所等の浸水を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する必要がある。 				
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・代替性 ・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 2.6 . 5 当該事業により、市街地の家屋や事業所(多木化学、田岡化学等)、道路(県道明石高砂線、1 級町道浜幹線、2 級町道水田川西線外)の冠水被害を防止することができる。 引堤・河床切下げによる河積の拡大以外に現実的な代替案は無い。 地域要望も強く、用地買収も完了していることから、早期の工事完成・効果発現が可能。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 周辺景観に配慮し石積み護岸での施工を行っている。また、都市公園と隣接する一部区間では、一体的に利用するため、緩傾斜の護岸を採用し親水空間を創出するとともに、高水敷を緑化する等、環境に配慮した取り組みを実施している。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 当該地域は、平成 2 年 9 月の出水により大きな浸水被害が発生しており、再度の浸水被害を防止するため、残された区間を緊急に完成させることが必要である。 				
再評価の結果	継続妥当	左の理由	上記内容により継続が妥当と認められた。		

